特集／豊田 稔 北茨城市長 7期就任インタビュー　広告　企画・制作　建設未来通信社広告部

医療や教育環境、子育て支援を充実

～安心安全なまちづくりの推進へ財源確保～

◆プロフィール◆

豊田 稔（とよだ・みのる）
1944年6月5日生まれの79歳。市議会議員を経て90年に北茨城市長に初当選。趣味は読書、音楽・映画観賞。政治信条は「感謝と思いやり」。

5月21日に行われた北茨城市長選挙で、豊田稔氏が7期目の当選を果たした。これまでの6期の中でも多くの公約を掲げ、実現してきた。しかし、市内へのデータセンター誘致、子育て支援事業、市民の命を守り、物流を促進させるインフラ整備など、取り組むべき課題として挙げた政策は多い。「人生と同様に今後も市政への挑戦をつづけていく」と語る豊田市長に、これまでの市政運営を振り返ってもらうとともに、今後の施策や建設業への思いなどを聞いた。

（聞き手／㈱建設未来通信社　代表取締役　小泉孝司）

■これまでの6期を振り返って

消防庁舎の高台への新築移転、新入学児童へのランドセル無償配布、関本小中一貫校の開設など、これまで多くの公約を掲げて達成してきた。市政について市民の皆さんがどう思っているのか、公約を通じて市民の皆さんへ何を提供できるかを考え、精一杯仕事をしてきたと自負している。

▲子育て支援住宅整備へ大和ハウスグループと協定締結

▲子育て支援住宅建設イメージ図

日立からいわき間　物流道路の建設へ

7期目の今期は「安心安全なまちづくり」を第一に、子育て支援、生活支援、教育環境の充実などの政策について、公約実現のために努力していく。人生に挑戦することと同じく、市民の皆さんの声に耳を傾けながら今後も市政に挑戦していきたい。

■重点事業について

公約として「安心安全なまちづくり」を掲げているが、安心安全なまちと一言で言ってもその形はさまざまである。生活を楽しむことができるまち、学校教育が充実しているまちを作り上げることも「安心安全なまちづくり」と言える。

生活を豊かにするまちづくりを実現するためには財源確保が重要であり、若い世代の雇用の場創出のためにも、企業誘致を推進し、特にデータセンター誘致を実現したい。

データセンター誘致については、スポーツ広場を有効活用することで、充分な広さの土地を最小限の経費で整備することが可能なことから、今後は、災害リスクの低さや電力・通信インフラのポテンシャルの高さなど、立地環境の良さを積極的に発信していきたい。

工業団地へデータセンター誘致

しかし、データセンターの地方進出は、社会経済情勢や民間事業者の意向が大きく影響することから、ハードルは高いが、乗り越えていかなければならない課題だと感じている。データセンター誘致が、4年間の市長としての大きな仕事になると考えており、立地を実現することが今の夢。

■その他の重点事業について

豊かに生活できるまちの実現には、子育て世帯が働きながら子育てができる環境を提供することも重要だと考えている。

市では給食費の無償化、18歳までの医療費無償化など、多くの子育て支援事業に取り組んできた。先日は大和ハウスグループと協定を締結し、市内へ子育て支援住宅の整備が予定されている。

中学校跡地を利用して整備を行う計画で、施設はS造3階建て、大和ハウスが提案した延べ床面積は1721・35㎡。2LDKもしくは3LDKで、21世帯が入居可能。48台分の駐車場も整備する。2024年1月に着工し、24年12月末までには入居が可能となることを目標として計画を進めている。

また跡地には約3000㎡の公園も整備予定となっており、子育て世代が住みやすい環境となるよう事業を進めていく。

今後も子育て支援事業に取り組み、子育てしながら住みたい、働きたいと思っていただけるような市を目指していく。

■インフラ整備について

市民の皆さんからは、道路の拡幅や悪路の整備など、インフラ整備を求める声が多く寄せられている。市民の声を直に聞き、市民を守るためのインフラ整備が重要になってくると感じた。

4月12日には都市計画道路「北町・関本中線」の開通式が行われ、大津港・平潟地区に接続する道路の整備が大きな目標。

▲北町・関本中線開通式のテープカット

■入札制度のあり方について

工事の規模や内容によって適切な入札方法を見極め、入札制度を活用していく。正しい、公平な入札を行うことが大切だと考えている。

その結果、地元建設業にまんべんなく仕事がいきわたるような状態になれば望ましい。

■地元建設業界へのメッセージ

建設業界の皆さんには、災害時の復旧復興や防災訓練への協力などで多くの支援をいただいている。市だけで対応可能なものは限られてくるので、建設業界の皆さんと協調しながらさまざまな課題に取り組んでいきたいと考えている。

災害時の復興復旧支援や減災に対する取り組みなど、建設業界の役割は日々拡大している。市としても、建設業界の皆さんと一丸となって、安心安全なまちづくりのためにまい進してまいりたいと考えているので、引き続き、ご支援、ご協力をお願い申し上げたい。

北茨城市のさらなる地域経済発展に尽力いたします

おかげさまで60周年
北茨城市建設業親交会

会長 樋本和雄　副会長 丹 誠一郎　副会長 山本淳一　常任理事 小山 繁　会計理事 三品清一

㈱秋山工務店　㈱青木建設　㈱アーキシステム　㈱茨城サービスエンジニアリング　大北産業㈱　大島組　㈱オカベ　㈱小國工務店
小林建設㈱　小松建設㈱　サコー建設㈱　十石建設㈲　常磐開発㈱茨城営業所　新和企業㈲　㈱菅原工務店　㈲鈴木潜建
鈴縫工業㈱　大城建設㈱　㈲大和工務店　㈱高山建設　多賀土木㈱　㈱丹工務店　㈱千葉工務店　東海建設㈱
日興建設㈱　橋間建材　日立アスコン㈱　日立土木㈱　㈲樋本土木工業　富士建設㈱　㈱有紀建設
（五十音順）

事務局／〒319－1541　北茨城市磯原町磯原1630番地194号　TEL 0293(42)4086　FAX 0293(42)4007

社会福祉法人
北茨城市社会福祉協議会

（事務局）〒319－1542
北茨城市磯原町本町2丁目4番地16
TEL 0293(42)0782　FAX 0293(42)7666

標高350メートルからの眺望と四季を感じる宿
公共の宿
マウントあかね
7月15日 展望浴室棟オープン！
〒319－1538 北茨城市華川町小豆畑2747
TEL 0293(30)0606／FAX 0293(44)3403